

2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東
 コード番号 6176 URL <https://www.brangista.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石原 卓 TEL 03-6415-1183
 定時株主総会開催予定日 2020年12月15日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月15日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（動画配信）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年9月期の連結業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	2,780	△18.1	3	△99.4	8	△98.4	△381	—
2019年9月期	3,394	0.8	518	—	513	—	633	—

（注）包括利益 2020年9月期 △380百万円（－％） 2019年9月期 632百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	△27.19	—	△14.5	0.2	0.1
2019年9月期	44.10	43.57	23.8	15.2	15.3

（参考）持分法投資損益 2020年9月期 ー百万円 2019年9月期 ー百万円

（注）当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	3,805	2,370	62.3	170.24
2019年9月期	3,627	2,874	79.2	203.43

（参考）自己資本 2020年9月期 2,369百万円 2019年9月期 2,873百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	264	△26	509	1,615
2019年9月期	102	△514	△94	856

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）2021年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	11.5	250	—	250	—	170	—	12.13

（注）第2四半期（累計）の業績予想は行っておりません。詳細は3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期	14,575,300株	2019年9月期	14,575,300株
② 期末自己株式数	2020年9月期	655,988株	2019年9月期	450,788株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	14,012,671株	2019年9月期	14,372,323株

(参考) 個別業績の概要

2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	1,947	△41.3	300	△49.1	303	△47.8	△291	—
2019年9月期	3,318	5.6	590	15.4	580	12.5	926	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期	△20.81	—
2019年9月期	64.46	63.68

(注) 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	3,694	2,518	68.1	180.88
2019年9月期	3,673	2,933	79.8	207.64

(参考) 自己資本 2020年9月期 2,517百万円 2019年9月期 2,932百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」に記載した事項と同様の理由により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に、上場規程に定める一定の率を超える差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、景気は緩やかに回復していましたが、3月以降新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延によって急速に悪化し、極めて厳しい状況にありました。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況のもと、当社グループを取り巻く事業環境においても、新型コロナウイルス感染症による影響がございました。

㈱ブランジスタメディアが展開する電子雑誌業務では、上半期においては、当社主力雑誌「旅色」の書籍第2弾の全国発売や、国内外で41施設を展開する星野リゾートとのタイアップにより制作した別冊版「旅色」を発行したほか、自治体とも別冊版「旅色」の発行や広告掲載を実施し、引き続き「旅色」の媒体力強化に注力してまいりました。しかしながら、3月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛や休業・営業時間の短縮要請を伴った緊急事態宣言が発出され、当社クライアントである宿泊施設、飲食店などの観光・外食業界が打撃を受けました。当社においては全国8拠点から日本各地のクライアントへ直接訪問する営業活動が困難な時期があった影響も大きく、売上高が減少いたしました。そのような状況のもと、「旅色」のお取り寄せ特集への広告掲載が対象となる企業に対しての営業活動に力を入れ、さらにその後、緊急事態宣言が解除されたことで、感染拡大の防止に努めながら従来のような直接訪問による営業活動も再開し、第4四半期の業績は緩やかに回復いたしました。

㈱ブランジスタソリューションが展開するソリューション業務では、対面での商品購入を必要としないECサイトの重要性が増している中で、主力サービスの「ECサポートサービス」に注力し、大手メーカーのECサイト支援業務の受託を開始するなど、新規案件の獲得による業務受託売上を増加を図っておりましたが、販売する商品によっては新型コロナウイルス感染症の影響を受けているクライアントも出ておりました。一方、7月には台湾のメーカーを対象にAmazon日本市場への出店をサポートする「台湾メーカー向けECサポートp r o Amazon専用プラン」の提供を開始し、8月にはスキンケア商品のオリジナル新ブランド「Feel the HALO」を立ち上げ、第1弾商品として、特許製法を用いて製造された高濃度炭酸クレンジング「Feel the HALO クッションクレンジング」の販売を開始するなど、これまで培ってきたECのノウハウをもとに新しい試みも行っております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、連結子会社である㈱C r o w d L a bに係るのれんの減損損失を特別損失に計上いたしました。

以上の結果、当連結会計年度におきましては、売上高2,780百万円(前連結会計年度比18.1%減)、営業利益3百万円(前連結会計年度比99.4%減)、経常利益8百万円(前連結会計年度比98.4%減)、親会社株主に帰属する当期純損失381百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益633百万円)となりました。親会社株主に帰属する当期純損益においては、2019年9月期は連結子会社の全株式を譲渡したことによる税効果会計による会計処理の影響などの一時的な増益影響があった反動から、前連結会計年度を大幅に下回っております。

なお、当社グループは「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、売上の内訳を示すと、電子雑誌関連が1,817百万円、ソリューション関連が897百万円、その他子会社が120百万円となりました(注)。

(注) 内部取引消去前の金額であります。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は3,805百万円となり、前連結会計年度末に比べて177百万円の増加となりました。当連結会計年度における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

(流動資産)

流動資産は3,279百万円となり、前連結会計年度末に比べて604百万円の増加となりました。これは主に銀行からの借入により、現金及び預金が758百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は525百万円となり、前連結会計年度末に比べて427百万円の減少となりました。これは主に、㈱C r o w d L a bに係るのれんの減損処理をしたことで無形固定資産が442百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

流動負債は781百万円となり、前連結会計年度末に比べて243百万円の増加となりました。これは主に、銀行からの借入により短期借入金が増加したことや、未払法人税等が31百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

固定負債は652百万円となり、前連結会計年度末に比べて437百万円の増加となりました。これは、銀行から長期借入を行ったことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は2,370百万円となり、前連結会計年度末に比べて503百万円の減少となりました。これは主に、自己株式の取得による102百万円の減少や、親会社株主に帰属する当期純損失の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は1,615百万円となり、前連結会計年度末に比べて758百万円の収入となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は264百万円（前年同期は102百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失359百万円の計上があったものの、売上債権の減少による増加109百万円や減損損失の計上による増加364百万円、法人税等の還付66百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は26百万円（前年同期は514百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出18百万円、無形固定資産の取得による支出10百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は509百万円（前年同期は94百万円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出185百万円があったものの、長期借入を行ったことによる収入800百万円があったことによるものです。

（4）今後の見通し

当社グループについては、(株)ブランジスタメディアが展開する電子雑誌業務と、(株)ブランジスタソリューションが展開するソリューション業務、その他子会社によって構成されております。

電子雑誌業務については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年9月期第3四半期については売上高が減少したものの、第4四半期以降、主力電子雑誌「旅色」のお取り寄せ特集を中心とした電子雑誌への広告掲載数が回復基調であることを踏まえ、2021年9月期以降も回復が続くものと仮定に基づき、電子雑誌広告売上が堅調に推移するものと見込んでおります。

ソリューション業務については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規の営業活動に一部影響がでているものの、EC利用者の増加を踏まえ、主力サービスの「ECサポートサービス」の業務受託売上が堅調に推移するものと見込んでおります。また、これまで培ってきたECのノウハウをもとに、2020年8月より販売を開始した、スキンケア商品のオリジナル新ブランド「Feel the HALO」の販売を強化するための販売促進及び広告宣伝費用の増加を見込んでおります。

それらの結果、次期（2021年9月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高3,100百万円、営業利益250百万円、経常利益250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益170百万円を見込んでおります。

なお、上記見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	856,436	1,615,207
売掛金	1,918,355	1,809,561
前払費用	28,727	39,879
その他	104,332	45,713
貸倒引当金	△232,993	△231,135
流動資産合計	2,674,857	3,279,225
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,163	17,090
減価償却累計額	△4,799	△6,331
建物(純額)	9,363	10,758
工具、器具及び備品	55,314	52,923
減価償却累計額	△45,548	△36,796
工具、器具及び備品(純額)	9,766	16,127
有形固定資産合計	19,130	26,885
無形固定資産		
のれん	442,867	—
その他	22,141	22,202
無形固定資産合計	465,008	22,202
投資その他の資産		
繰延税金資産	422,379	439,818
その他	46,536	37,088
投資その他の資産合計	468,916	476,906
固定資産合計	953,055	525,994
資産合計	3,627,913	3,805,220

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,252	73,068
短期借入金	190,000	386,666
未払金	83,798	82,396
未払法人税等	14,366	46,021
前受金	40,516	50,391
預り金	10,070	10,842
業績連動賞与引当金	91,633	89,500
その他	34,944	42,922
流動負債合計	538,581	781,810
固定負債		
長期借入金	215,000	652,777
固定負債合計	215,000	652,777
負債合計	753,581	1,434,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,052	621,052
資本剰余金	1,042,637	1,021,951
利益剰余金	1,602,433	1,221,235
自己株式	△391,323	△494,114
株主資本合計	2,874,800	2,370,125
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,457	△482
その他の包括利益累計額合計	△1,457	△482
新株予約権	989	989
純資産合計	2,874,331	2,370,631
負債純資産合計	3,627,913	3,805,220

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,394,529	2,780,094
売上原価	861,180	750,467
売上総利益	2,533,348	2,029,626
販売費及び一般管理費	2,014,471	2,026,361
営業利益	518,877	3,265
営業外収益		
転籍関連収入	708	—
受取利息	14	16
投資有価証券売却益	—	3,385
雑収入	5,610	6,633
営業外収益合計	6,333	10,035
営業外費用		
支払利息	1,239	3,670
自己株式取得費用	10,115	1,026
為替差損	169	136
営業外費用合計	11,524	4,833
経常利益	513,686	8,466
特別利益		
固定資産売却益	85	—
特別利益合計	85	—
特別損失		
固定資産除却損	2,385	0
事業再編損	30,896	—
減損損失	—	364,714
新型コロナウイルス感染症による損失	—	2,958
特別損失合計	33,281	367,672
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	480,490	△359,205
法人税、住民税及び事業税	165,231	39,280
法人税等調整額	△318,602	△17,438
法人税等合計	△153,370	21,842
当期純利益又は当期純損失(△)	633,861	△381,047
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	633,861	△381,047

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	633,861	△381,047
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,357	975
その他の包括利益合計	△1,357	975
包括利益	632,503	△380,072
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	632,503	△380,072
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	604,070	885,705	968,572	△28	2,458,319
当期変動額					
新株の発行	16,982	16,982			33,965
親会社株主に帰属する当期純利益			633,861		633,861
自己株式の取得				△399,975	△399,975
自己株式の処分		△2,180		8,680	6,500
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		142,130			142,130
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	16,982	156,931	633,861	△391,294	416,480
当期末残高	621,052	1,042,637	1,602,433	△391,323	2,874,800

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△99	△99	989	2,459,208
当期変動額				
新株の発行				33,965
親会社株主に帰属する当期純利益				633,861
自己株式の取得				△399,975
自己株式の処分				6,500
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				142,130
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,357	△1,357	—	△1,357
当期変動額合計	△1,357	△1,357	—	415,122
当期末残高	△1,457	△1,457	989	2,874,331

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	621,052	1,042,637	1,602,433	△391,323	2,874,800
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△381,047		△381,047
自己株式の取得				△184,937	△184,937
自己株式の処分		△20,686		82,146	61,460
連結範囲の変動			△149		△149
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△20,686	△381,197	△102,791	△504,675
当期末残高	621,052	1,021,951	1,221,235	△494,114	2,370,125

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△1,457	△1,457	989	2,874,331
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△381,047
自己株式の取得				△184,937
自己株式の処分				61,460
連結範囲の変動				△149
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	975	975	—	975
当期変動額合計	975	975	—	△503,699
当期末残高	△482	△482	989	2,370,631

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	480,490	△359,205
減価償却費及びその他の償却費	21,062	21,846
減損損失	—	364,714
のれん償却額	78,153	78,153
業績連動賞与引当金の増減額(△は減少)	4,661	△2,132
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13,150	△1,984
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,385
事業再編損	30,896	—
固定資産除却損	2,385	0
売上債権の増減額(△は増加)	△206,775	109,303
前払費用の増減額(△は増加)	4,277	△11,151
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,012	△569
前受金の増減額(△は減少)	7,381	9,875
未払金の増減額(△は減少)	7,825	△1,271
預り金の増減額(△は減少)	△114,145	763
未払又は未収消費税等の増減額	8,714	△22,620
その他	△7,064	19,669
小計	305,000	202,005
利息の受取額	14	16
利息の支払額	△1,239	△3,670
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△201,246	66,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,529	264,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	△10,137	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△511,340	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△17,660	—
投資有価証券の売却による収入	39,097	3,673
有形固定資産の取得による支出	△13,569	△18,795
無形固定資産の取得による支出	△7,283	△10,413
敷金及び保証金の差入による支出	△927	△1,342
敷金及び保証金の回収による収入	6,983	291
その他	332	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△514,504	△26,586
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△30,000
長期借入れによる収入	300,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△25,000	△135,555
株式の発行による収入	33,965	—
自己株式の取得による支出	△410,091	△185,964
自己株式の処分による収入	6,500	61,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,626	509,940
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,197	601
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△507,798	748,749
現金及び現金同等物の期首残高	1,364,235	856,436
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	10,021
現金及び現金同等物の期末残高	856,436	1,615,207

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第3四半期連結会計期間において、新設分割により新たに設立した㈱ブランジスタメディアを連結の範囲に含めております。また、非連結子会社であった㈱ブランジスタソリューションについても、当社グループにおける重要性が増したため、第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社電子雑誌「旅色」の広告クライアントには、特に影響を受けやすい飲食業や宿泊業も多数含まれております。現時点において入金状況や倒産状況に大きな変化は見られておらず、連結財務諸表作成時点までの債権回収状況を踏まえ、貸倒引当金の見積りを行っております。しかしながら、影響が長引いた場合、これらの状況が悪化することが懸念されます。

また、固定資産の減損会計及び税効果会計の適用等は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一定期間続くものの、2021年9月期以降緩やかに回復するとの仮定に基づき会計上の見積りを行っております。

なお、現時点で入手可能な情報に基づいて見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済環境への影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	203.43円	170.24円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	44.10円	△27.19円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	43.57円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	633,861	△381,047
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	633,861	△381,047
普通株式の期中平均株式数(株)	14,372,323	14,012,671
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	175,452	－
(うち新株予約権(株))	(175,452)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	(提出会社) 新株予約権1種類(普通株式 50,000株)	(提出会社) 新株予約権5種類(普通株式 551,700株)

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。